

⑤遊具

▼部品の欠落や破損の有無を目視による日常点検

▼定期点検

・月1回、目視・触診・打診・聴診等に加えて、メジャー・ノギス等の計測機器を用いて、前回の計測時から変形・摩耗が生じていないかを点検

・年2回(4月・7月)、社団法人日本公園施設業協会が認定する「公園施設製品安全管理士」または「公園施設製品整備技士」の資格者を有する専門業者に委託して点検実施

▼サクラの森エリアC改修工事(9月中旬～2月28日)スライドマウンテン改修、セイフティマット撤去・設置を中心に札幌市により改修工事

▼積雪期前後に一部遊具の設置・撤去を実施

⑥芝生・草地管理

▼芝生管理は、夏の乾燥害が激しかったが、その後雨天が続いたこともあり草刈り回数を減じて対応。また、雪冷房倉庫屋上芝地は乾燥の影響で芝生が枯死したため、改修に向けた耕耘を実施し芝生の改善を図った。

▼樹林地の草刈りは、刈込み回数を年3～5回程度とした区域をそれぞれ設け、刈込み時期など生物多様性保全に配慮するとともに、一定レベルの景観を維持した管理を継続的に実施した。

▼農薬を使用しない管理により、安心・安全を提供した。

▼芝刈・草刈作業時における安全対策を徹底した。

⑦樹木管理

▼サクラの森の日常管理では、サクラの生育調査、冬期剪定、病害枝切除及び病患部治療を実施したほか、サクラの周囲に生育している高木の枝落としと間伐を実施した。また、苗圃内のサクラの苗木を東通路へ補植した。

▼2018年秋の台風被害以降、枯損の広がるカラマツの林では、枯損主因を特定し撤去をした。今後捕植予定。

▼苗圃では、樹木の育成やサクラの苗木栽培を継続的に行った。

▼園内で発生した植物性廃棄物をチップや堆肥化し、積極的にリサイクル活用した。

⑧冬季管理

▼記録的な降雪となり折れ枝や倒木など樹木への影響があり、都度対応した。また、屋根の雪下ろしなど適宜実施したため施設への影響は防ぐことができた。また、大型除雪機械による園路除雪では、スノーポールを適所に設置して園路破損を最小限に留め、施設維持と安全確保に努めた。

▼モエレ山のソリコースは、2月上旬に大雪の影響で雪面が大規模に割れたため、全域を立ち入り禁止とした。

▼歩くスキーのコースは、予定通りの期日で供用できた。また、スノーモービルでの圧雪や園路除雪等を実施し、利用者の散歩道を確保した。

・遊具エリアは改修が進んでいるものの、遊具本体の老朽化が進んでおり、人気の遊具のほとんどが使用できない状況であるため、札幌市と協議し、修繕を進めたい。

・植物の維持管理については、生育状況を踏まえつつ良好に実施できた。

・樹木の日常管理においては、ボランティアとの協働により緑に関する講習会のサポートや圃場の除草、サクラの下草刈り等を行うことを通じて、市民参加活動を推進した。

・大雪の影響が各所に現れたが、最後まで事故なくシーズンを終えることができた。特にモエレ山の雪の地滑りについては状況を注視し翌年度以降の対応を検討していく。

・歩くスキーコース、散歩コース等利用内容ごとの看板を設置したほか、巡回時の案内を強化する等の結果、事故やトラブルを未然に防ぐことができた。

	<p>▽ 防災</p> <p>防災訓練計画を策定し、年2回ガラスのピラミッド消防訓練を実施した。 ハザードマップ(夏期用・冬期用)を作成し、季節に応じて公園HPで公開した。</p>	<p>・迅速な対応及び手順、今後の改善点を確認することができた。</p> <p>・ハザードマップは随時更新し、工事の情報も含め、最新情報が提供できるようにした。</p>	<p>適切に実施されています。非常時に使う用品等の整理整頓を行い、特に河川樋門関係の設備については、稼働を確認しておくようお願いいたします。</p>												
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 学習機会の提供業務</p> <p>感染症対策のため、いくつかのイベントが中止となったが、イベントの開催方法を検討し、定員を半減させたり、スタッフ、参加者間の接触する機会を減らすなど感染予防の工夫をし、できる限り事業を実施した。</p> <p>①芸術関係(美術・音楽等) ▼美術展「藤沢レオ: Sculpture of Place 柱の研究」(7/22-8/29): 9,586名 ▼モエレのホワイトクリスマス2021(12/18、19): 120名 ▼美術展「AKARI: 無重力の平行」(1/8-3/6): 3,257名</p> <p>②自然体験関係 ▼春のクラフト「いろいろスプーン」(4/10): 9名 ▼【中止】サクラツアー(5/3、8) ▼【中止】花を楽しむミニ盆栽(6/5) ▼【中止】木の葉でたたき染め(6/26) ▼夏のクラフト「いろいろスプーン」(7/17): 5名 ▼親子で楽しむ押し葉アート(8/7): 10名 ▼【中止】紅葉を楽しむミニ盆栽(9/25) ▼秋の公園散策(10/23): 2名 ▼モエレクラフトXⅢ(11/6): 25名 ▼【中止】冬の公園を歩こう(3/5)</p> <p>③その他 ▼【期間短縮】モエレの1年展(4/29-5/2): 2,031名 ▼モエレの1年展秋会期(11/3-14): 1,124名 ▼やってみよう! 歩くスキー(1/29、2/12): 17名</p> <p>▽ 持込イベント、メディア等に関する相談業務</p> <p>公園全体が芸術作品であり特徴的な景観を有することから、様々なメディアによる取材・撮影希望を受けた。コロナウイルスの感染拡大がおさまらない状況であることから発信内容やタイミングには慎重を期し、感染症拡大に繋がらないように気を配った。例年多く希望のある公園視察については、ほぼすべてが中止となった。</p> <p>また、マラソン大会や自転車競技、花火大会等の大規模イベントについては、例年実施している設営・撤去作業を含め主催者との調整・協議に加え感染症対策についても打ち合わせを実施し、無事終了した。また、イベント関係者車両の園内進入を極力抑え、時間帯や曜日を制限するなど、利用者の安全・安心の確保に努めた。</p>	<p>・例年開催している美術・音楽関連の事業は毎回工夫を重ね、市内の美術団体とも協力しながら、市民から愛される事業として成長している。感染状況を注視しながらR3年度も継続して事業を実施し、参加者から好評を得た。</p> <p>・自然体験関係のイベントでは、感染対策の影響で中止の事業が多くなったが、実施できた事業については植物管理サポーターの積極的な活動により、満足度の高い事業を実施できた。</p> <p>・前年度から続くコロナ禍で、例年よりは少ないながらも美術関係者の視察は多く、スムーズな利用調整と丁寧な視察案内を心掛けることにより、高い満足度を得た。</p> <p>・持込イベントに対しては、きめ細やかな事前調整を実施し、大きなトラブルなく対処できた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">工夫をこらして、モエレ沼公園の特色を活かした事業が展開されていることを評価します。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">適切に実施されています。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	工夫をこらして、モエレ沼公園の特色を活かした事業が展開されていることを評価します。				適切に実施されています。			
A	B	C	D												
工夫をこらして、モエレ沼公園の特色を活かした事業が展開されていることを評価します。															
適切に実施されています。															